

『解説追補資料』第 3 予想 第 2 問、4

4 リサイクリングを行うことでクリーン・サープラス関係を維持し、一致の原則に合う**当期純利益**を算出することができます。

リサイクリングを行わないと**当期純利益**に関する一致の原則、クリーン・サープラス関係を成立させないとする**イとカ**が正解になります。

以下、具体的な事例で確認しておきましょう。

<事例>

第 1 期に 100 円でその他有価証券を取得した。

第 1 期末に 120 円に評価換えした。

第 2 期に 130 円で売却した。

<リサイクリングをする場合>

	第 1 期	第 2 期	合 計
包括利益	20	10	30
当期純利益	0	30	30
C F	△100	130	30

当初の純資産（株主資本と同額）を 100 円とすれば、その他有価証券の売却により、純資産（株主資本）は 130 円に増えています。

キャッシュ・フローと 2 つの利益は一致し、この金額は純資産（株主資本）の増減額とも一致します。

<リサイクリングをしない場合>

	第 1 期	第 2 期	合 計
包括利益	20	10	30
当期純利益	0	0	0
C F	△100	130	30

リサイクリングをしない場合は、純利益が 0 になり、この金額はキャッシュ・フローと一致しません。

リサイクリングをしなくても純資産（株主資本）は 130 です。

リサイクリングをしないと**包括利益**は、キャッシュ・フローと一致し、クリーン・サープラス関係を満たす利益といえますが、全体期間の**当期純利益**は、全体期間のキャッシュ・フローと一致せず、クリーン・サープラス関係を満たさない利益となります。